

2020 年入学

学 生 募 集 要 項

博士後期課程 **春学期入学者選抜試験**

博士後期課程 **秋学期入学者選抜試験**

先 端 科 学 技 術 研 究 科

- 2020 年春学期入学者選抜試験第 1 回—第 2 回
- 2020 年秋学期入学者選抜試験第 1 回



奈良先端科学技術大学院大学

<http://www.naist.jp/>

博士後期課程へ出願を予定されている方は、志望研究室の教授と連絡を取って
事前に研究室の研究内容等を十分に把握してください。

目 次

《奈良先端科学技術大学院大学の教育方針》

《アドミッション・ポリシー》

○博士後期課程 2020 年入学者選抜試験

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続等	2
4. 選抜方法等	4
5. 合格者の発表及び入学手続	5
6. 入学時納付金	6
7. 出願資格 (13) (14) の者の資格審査	6
8. 長期履修制度について	7
9. 安全保障輸出管理について	7
10. その他	7
・コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内	8
*入学願書	
*受験票・写真票・振込受付証明書	
*各種通知等受信票	

***消費税率の改定が行われた場合には、受験票等送付用封筒等の郵便料金にご注意ください。
料金が不足の場合は、出願不受理となることがあります。**

奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

●目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

●教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年（1991年）10月に設置されました。NAISTの研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

●人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

●教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

国内外を問わず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特にこれまでに修得してきた深く広い専門知識を、人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い先端科学技術分野での活躍を志している人を積極的に受け入れます。

◆入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

1. 募集人員

募集単位	募集人員	試験区分
先端科学技術研究科先端科学技術専攻	107 名	情報科学区分 (40 名程度)
		バイオサイエンス区分 (37 名程度)
		物質創成科学区分 (30 名程度)

※募集人員には、秋学期募集人員若干名及び各試験区分の学内進学者を含みます。

※同一試験回において、複数の試験区分に出願することは出来ません。

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 修士の学位又は専門職学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (8) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (9) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (10) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (11) 外国の学校、(7) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (12) 外国の学校、(7) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると 2020 年 3 月 31 日までに認められる見込みの者
- (13) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（〔注〕 2 参照）
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（〔注〕 2 参照）
- (14) 本学において、個別の資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2020 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（〔注〕 2 参照）

〔注〕 1. 秋学期入学に出願する者は、上記出願資格 (2) (4) (6) (8) (10) (12) (14) の 2020 年 3 月 31 日を 2020 年 9 月 30 日と読み替えてください。

2. 出願資格 (13) 又は (14) によって出願する者については、事前に資格審査を行いますので、6 頁の「7. 出願資格 (13) (14) の者の資格審査」により申請してください。

3. 出願手続等

(1) 出願期間 ※出願期間内消印有効

試験回	出願期間	備考
春学期第 1 回	2019 年 7 月 22 日 (月) ～7 月 24 日 (水)	2020 年秋学期 (第 2 回) 募集要項は 2020 年 4 月頃発表する予定。
春学期第 2 回	2020 年 1 月 20 日 (月) ～1 月 22 日 (水)	
秋学期第 1 回		

(2) 入学検定料の支払方法

次の①～③のいずれかの方法により入学検定料 30,000 円をお支払いください。なお、入学検定料の支払いにかかる手数料については、出願者においてご負担願います。

いずれの方法も各試験の出願期間 1 カ月前よりご利用いただけます。

① 本学所定の「検定料振込依頼書」(C 票) による振込

- ・本学所定の「検定料振込依頼書」(C 票) により金融機関 (ゆうちょ銀行は除く。) の窓口で振り込んでください。
- ・振込後、「振込受付証明書」(A 票) を出願書類の所定の箇所に貼付してください。
(A 票と B 票の 2 ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを必ず確認してください。)

② 銀行 ATM による振込

- ・全ての金融機関で振込可能です (ただし、ゆうちょ銀行からの振込は、ゆうちょ銀行に口座がある方に限られます。)
- ・振込後、ATM から発行される「利用明細書」を出願書類の所定の箇所に貼付してください。
なお、「利用明細書」は、本人控用として必ず写しを取っておいてください (振込について確認させていただく場合に必要となります。)
- ・必ず出願者本人の名前で振り込んでください。また、振込者名の前に必ず「215」を付けてください (例:「215 センタントロウ」)。振込者名が出願者本人でない場合及び振込者名の前に「215」の番号が付されていない場合は、本学において入金確認ができないことがあります。その際は、出願が認められませんのでご注意ください。

<振込先> 下記の口座のいずれかに振り込んでください。

銀行名/支店名 口座種別/口座番号	口座名義 (カナ)
南都銀行 登美が丘支店 普通 0210251	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 ダイ) ナラセンタカガクギジュツダイガクインダイガク
三菱 UFJ 銀行 奈良支店 普通 4554681	

③ コンビニエンスストアの専用端末による払込

- ・払込については、8 頁を参照してください。
- ・払込後、「収納証明書」を出願書類の所定の箇所に貼付してください。

なお、国費留学生については、検定料は不要です。また、本学以外の大学に在学している国費留学生は大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。

(3) 出願方法

- ・出願書類は一括して、本学所定の封筒、若しくは角形 2 号封筒 (33 cm×24 cm) に入れて下記宛先へ書留速達にて郵送又は持参してください。

- ・郵送の場合は、出願期間内に郵送されたもので、本学に到着した分を受理します（**出願期間内消印有効**）。
- ・持参の場合は、出願期間内の 9 時～17 時（12 時～13 時を除く。）に受理します。
- ・出願回数に制限はありませんが、出願手続はその都度行う必要があります。
- ・出願書類の一部（a、b、i）は本学ホームページ（<http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/>）からダウンロードすることも可能です。必要事項を入力の上、プリントアウトしてください。
なお、「検定料振込依頼書」はダウンロードできませんので、その場合、検定料については、銀行 ATM 又はコンビニエンスストアの専用端末から振り込んでください。

(4) 受験票等の送付

出願書類を受理した後、受験票及び受験者心得を、受験票等送付用封筒（速達）にて選抜期間の 1 週間前 までに送付します。

なお、上記の期間までに到着しない場合は、教育支援課入試係〔電話：0743-72-5083〕にお問い合わせください。

(5) 出願書類等

●出願者全員が提出するもの

出願書類等		備 考
a	入学願書	本学所定の様式。 本学ホームページ（ http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/ ）からダウンロード可。
b	受験票・写真票	本学所定の様式。 本学ホームページ（ http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/ ）からダウンロード可。
c	検定料振込を証明する書類 （振込受付証明書/利用明細書/収納証明書等）	「振込受付証明書」は本学ホームページからダウンロードできません。募集要項の冊子を手取るか、その他の方法で振り込んでください。 国費留学生については、検定料振込を証明する書類は不要です。 ただし、本学以外の大学に在学している国費留学生は大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
d	大学院博士前期（修士）課程に係る修了（見込）証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	出願資格を満たす大学院等の修了（見込）証明書。 出願資格（11）（12）（13）（14）に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
e	大学等に係る成績証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	出身大学長、又は学部長等が作成したもの。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科等）の成績証明書も併せて提出してください。 出願資格（13）（14）に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
f	大学院博士前期（修士）課程に係る成績証明書 ※写し（コピー）	出願資格を満たす大学院等の成績証明書。 出願資格（11）（12）（13）（14）に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

	不可 ただし Certified true copy は可	
g	これまでの研究概要	様式任意（可能な限り Word 等ワープロソフトを使用してください）。 A4 判用紙 5 枚以内（片面のみ記述）。和文・英文いずれも可。 カラー印刷不可。各ページに必ず氏名を記入し、ホッチキス等で綴じない てください。 なお、研究に関する発表論文があれば、別刷等を添付してください。
h	当研究科での研究計画	様式任意（可能な限り Word 等ワープロソフトを使用してください）。 A4 判用紙 2 枚以内（片面のみ記述）。和文・英文いずれも可。 カラー印刷不可。各ページに必ず氏名を記入し、ホッチキス等で綴じない てください。
i	各種通知等受信票	本学所定の様式。必要事項を記入してください。 本学ホームページ (http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/) からダウンロード可。
j	受験票等送付用封筒	本学所定の封筒若しくは長形 3 号封筒 (24 cm×12 cm) に 362 円の切手を貼 り、住所・氏名を明記し、必ず朱書きで「速達」と記入してください。

- 以下の〈 〉内で示す条件に該当する者のみ提出するもの
〈出願資格 (11) (12) に該当する者〉

出願書類等		備 考
k	博士論文研究基礎 力審査に相当する 審査に係る確認書	様式任意。出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの（合格基準 等、詳細の分かる資料を添付のこと。）。

〈企業等から派遣される場合（有職者で入学後退職しない場合を含む。）〉

出願書類等		備 考
1	出願承認書	様式任意。企業等から派遣されることが明示されているもので、しかるべ き責任者が作成したもの。

※上記書類が提出できない場合は、その旨を記述した理由書を提出してください（様式任意）。

(6) 出願に際しての注意事項

- ・身体等に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に教育支援課入試係〔電話：0743-72-5083、E-mail：exam@ad.naist.jp〕に相談してください。
- ・出願書類等に不備がある場合は、原則として受理しませんので、十分注意してください。出願前に提出用封筒裏面の出願書類チェック表で内容物を確認願います。また、出願後は原則として記載事項の変更を認めません。
- ・出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。

4. 選抜方法等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、次の事項により判定します。

試験区分	選抜事項
情報科学区分	① 成績証明書 ② 面接による英語能力又は日本語能力の試問 ③ 面接による専門知識の試問 ④ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問

	⑤ 出願資格 (2) (4) (6) (8) (10) の者に関しては、上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、④及び⑤に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて 20 分程度にまとめてください。
バイオサイエンス区分	① 成績証明書 ② 面接による専門知識及び英語能力の試問 ③ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問 ④ 出願資格 (2) (4) (6) (8) (10) の者に関しては、上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、③及び④に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて 15 分程度にまとめてください。
物質創成科学区分	① 成績証明書 ② 面接による英語能力の試問 ③ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問 ④ 出願資格 (2) (4) (6) (8) (10) の者に関しては、上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、③及び④に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて 20 分程度にまとめてください。 ⑤ ③及び④の試問を踏まえての専門知識の試問

※各試験区分とも、発表にはPCプロジェクターを用いることができます。

(2) 選抜期間及び場所

次に定める期間のうち本学が指定した 1 日に選抜を行います。

試験回	選抜期間	試験実施時間	場所
春学期第 1 回	2019 年 8 月 19 日 (月) ~8 月 22 日 (木)	9 時~19 時	本学
春学期第 2 回	2020 年 2 月 17 日 (月) ~2 月 18 日 (火)		
秋学期第 1 回			

・受験者個々の実施日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

5. 合格者の発表及び入学手続

試験回	合格発表日	入学手続日
春学期第 1 回	2019 年 8 月 27 日 (火)	2020 年 2 月下旬
春学期第 2 回	2020 年 2 月 21 日 (金)	2020 年 3 月下旬
秋学期第 1 回		2020 年 9 月下旬

合格発表日の午前 10 時 (予定) から本学事務局玄関横掲示板に掲示するとともに、本学ホームページ (<http://www.naist.jp/>) でも合格発表をします。

なお、掲示・インターネットでの確認が不可能な場合は、合格発表日に合格者受験番号一覧を速達で送付しますので、住所、氏名を記入した長形 3 号封筒 (24 cm×12 cm) (362 円切手貼付) を出願書類に同封してください。

出願資格 (2) (4) (6) (8) (10) の者については、入学手続時に修了証明書を提出することが入学要件となります。万一、本学入学までに修士の学位が取得できない場合は入学資格がありませんので、注意してください。

6. 入学時納付金

- (1) 入学料 282,000 円 (予定額)
- (2) 授業料 2020 年春学期分 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定額)
- ・入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。
 - ・授業料の納付については、申し出により春学期分の納付の際に秋学期分も併せて納付できます。

7. 出願資格 (13) (14) の者の資格審査

出願資格審査申請期限 (期限必着)

試験回	申請期限日
春学期第 1 回	2019 年 6 月 21 日 (金)
春学期第 2 回	2019 年 12 月 20 日 (金)
秋学期第 1 回	

※期限必着

①出願資格 (13) に該当する者

提出書類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙 (用紙は教育支援課に請求してください)。
卒業証明書 ※写し (コピー) 不可 ただし Certified true copy は可	日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
成績証明書 ※写し (コピー) 不可 ただし Certified true copy は可	当該大学が作成したもの。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合は、前学校 (大学、短期大学、高等専門学校本科等) の成績証明書も併せて提出してください。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
業績調書	本学所定の用紙 (用紙は教育支援課へ請求してください)。 専攻分野に関連する研究業績等については客観的知見等を簡明に記載してください。
研究従事内容証明書	本学所定の用紙 (用紙は教育支援課へ請求してください)。 所属機関等が作成したもの。
各種免許証等参考になると 思われる書類の写し	(例) 研究論文、資格証明書、技能検定認定証明書、英語検定認定証明書、 取得特許・ソフトウェア開発説明書
審査結果通知用封筒	長形 3 号封筒 (24 cm×12 cm) に 362 円切手を貼付し、住所・氏名を明記し、朱書きで「速達」と記入してください。

②出願資格 (14) に該当する者

提出書類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙 (用紙は教育支援課へ請求してください)。
最終学歴卒業証明書 ※写し (コピー) 不可 ただし Certified true copy は可	日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
最終学歴成績証明書 ※写し (コピー) 不可 ただし Certified true copy は可	当該学校が作成したもの。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

各種免許証等参考になると 思われる書類の写し	(例) 研究論文、資格証明書、技能検定認定証明書、英語検定認定証明書、 取得特許・ソフトウェア開発説明書
審査結果通知用封筒	長形 3 号封筒 (24 cm×12 cm) に 362 円切手を貼付し、住所・氏名を明記 し、朱書きで「速達」と記入してください。

なお、審査の結果は出願期間までに通知します。

8. 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）で修了することが困難な者が、3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを入学時に申請し、大学がこれを認めた場合、3年間の授業料で3年を超えて在学できる制度です。

3年間の授業料の合計金額を長期履修期間として認められた年数で除した額が年間授業料となります。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

なお、詳細については以下の URL を参照してください。

<http://www.naist.jp/campuslife/gakumu/long-term.html>

また、申請希望者はあらかじめ教育支援課学務係〔電話：0743-72-5932〕までご連絡ください。

9. 安全保障輸出管理について

本学では、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないよう「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので、留意してください。

なお、詳細については以下の URL を参照してください。

http://www.naist.jp/activity/education/security_trade.html

10. その他

- (1) 納付した検定料及び提出書類は、いかなる理由があっても返還できません。
- (2) 受験のための宿泊施設は各自で確保してください。
- (3) 台風等の不測の事態により指定された集合時間に間に合わない場合は、集合時間までに教育支援課入試係〔電話：0743-72-5083〕にご連絡ください。なお、連絡がない場合は欠席扱いになります。
- (4) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、提出された個人情報（出願書類への記載内容及び試験成績）については、以下の目的の場合に使用し、当該目的以外には使用しません。
 - ・入学者選抜に係る業務（追跡調査を含む。）
 - ・研究室配属時の参考資料
 - ・奨学金の貸与及び学生宿舍の入居を申請した者にあつては、それぞれの選考時の参考資料
- (5) 学生募集要項等に関し不明な点がある場合は、下記へ照会してください。

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5
奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係
電話：0743-72-5083 FAX：0743-72-5014
E-mail：exam@ad.naist.jp